

安全報告書

2022 年（令和 4 年）度版



由利高原鉄道株式会社

令和 4 年度由利高原鉄道安全報告書

1.安全確保に向けて経営トップからのメッセージ

日頃より由利高原鉄道山ろく線をご利用いただきありがとうございます。また、地域の皆様には、駅舎等の設備や除草など駅周辺の環境美化活動、ホームの除雪など快適に鉄道を利用できるよう日頃よりご活動いただいておりますこと心より感謝申し上げます。さらに地域をあげて、弊社のかかし列車などイベントへのご協力につきましても改めて感謝申し上げます。

一昨年度より始めました通学定期の特別割引制度ですが、制度開始前には 2 割程度だった通学定期利用は、沿線地域の高校生の 6 割近い生徒さんにご利用いただいております。高校生の皆様はもとより、地域の皆様やご家族のご協力の賜物と感激し感謝しております。

また、地域の皆様が気楽にくつろげる場を目指し矢島駅に設置したカフェも、地域の方に由利高原鉄道を身近に感じていただくための列車を活用した催し「大人の遠足」についても好評を博しておりますが、今年も引き続き実施をしております。そして、地域の鉄道として愛され信頼される鉄道としてあり続けられるよう努力を続けてまいります。

そのためには列車が安全に運行し続けることが大前提となりますので、安全性を担保できる会社の運営がなされることが大事になります。本年度より、保守管理部門の体制を大幅に強化し、必要な作業が的確に行える体制といたしました。なお、昨年設置した危機管理委員会を毎月 1 回定期的に開催し、ヒヤリハット事例などの報告と対応方針の検討を行うこととしているほか、業務安全委員会を設置し列車の運行に係る、各部署の事務処理の在り方のチェックを行うこととしております。

運行についても、非常事態に適切に対応できるよう訓練を行っていくこととしておりますし保守業務や点検業務、運転士からの報告等を踏まえ軌道の状況を迅速に把握し、列車に情報を速やかに連絡し、適切な運行を行うことのできる仕組みを徹底させております。

軌道整備については、今年度から大幅に予算を増額し、不良マクラギの交換や道床交換など積極的な改修に取り組んでおります。点検体制についても、昨年度よりトラックマスターを導入し、迅速かつ的確な軌道状況の測定を行っていましたが、軌道変異の発生状況を考慮し調査頻度を 2 倍にし、適切に補正作業を行うことといたしております。

橋梁については、一昨年度より躯体部分の点検を行ってきておりますが、引き続き他橋梁の点検を行うとともに、点検で明らかになった状態を踏まえ適切な補修を行ってまいります。

今後、施設の老朽化に適確に対応していくため、軌道変異の状況等を分析し、より安全で快適な運行のできる軌道設備を作り上げるための補修を、計画的かつ効率的に進め、安全性の向上を目指してまいります。

本報告書は、鉄道事業法第 19 条に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実施について自ら振り返るとともに、広くご理解いただくために公表するものです。

皆様からの声を弊社鉄道の安全運行にいかしてまいります。ご意見をお寄せください。

由利高原鉄道株式会社
代表取締役社長 萱場 道夫

2. 安全に関する基本方針

当社は、安全・安心の提供がお客さまへの最大のサービスであるとの認識の下、社員一人ひとりが基本作業と基本ルールの遵守へ真摯に向き合い、安全を最優先とする意識を徹底し、輸送の安全の確保に取り組めます。

安全の「基本的な方針」は安全管理規程で定める次の 6 項目とする。

- ①安全の確保は、輸送の生命である。
- ②規程の遵守は、安全の基礎である。
- ③執務の厳正は、安全の要件である。
- ④事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- ⑤情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑥常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

3. 安全目標

安全・安定輸送の確保は、鉄道事業者の最重要課題と位置づけ、安全管理者を中心に「事故は絶対起こさない」を合言葉に、規程の遵守、当事者意識の確立に努め、死傷事故ゼロ・鉄道運転事故ゼロと輸送障害の削減に努めてまいります。

4. 重点実施施策

- 安全・安定輸送の確保
 - ア 鉄道施設検査記録の整備と老朽施設の整備（整備計画の推進と検査台帳のチェック）
 - イ 社員の育成（定期的な勉強会と経験値抽出の実施）
 - ・基本動作の再徹底と異常時対応能力向上について
 - ・検修業務知識のレベルアップ（知識の再確認）
 - ・構造物・電気設備の検査洩れ対策（スケジュール管理と台帳チェック体制の確立）
 - ウ 訓練・勉強会の実施

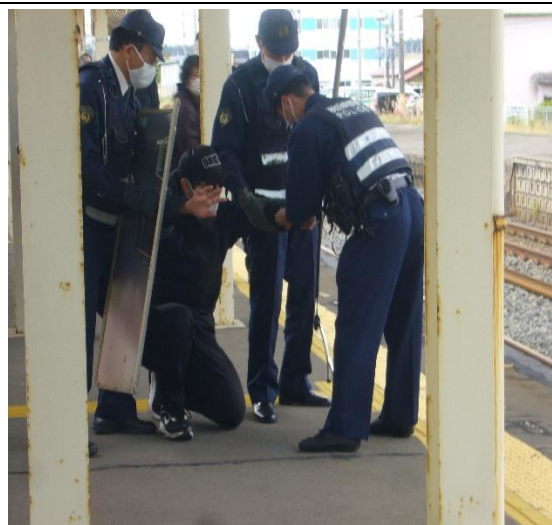
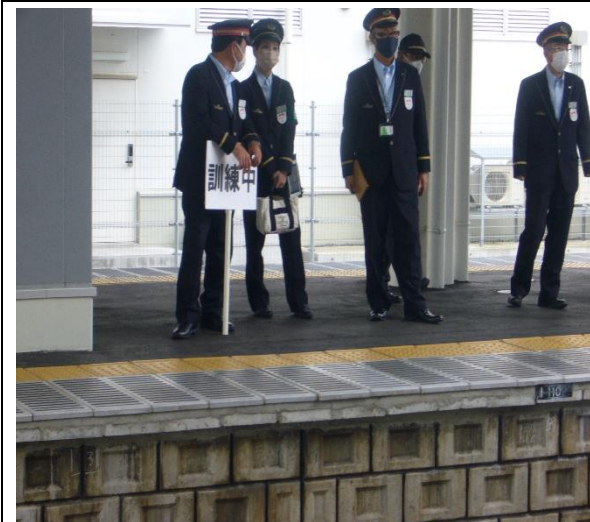
※令和4年9月16日、会津鉄道 会津田島駅構内にて鉄道事故訓練に参加

令和4年度鉄道事故対応訓練

訓練内容 (1) 地震発生に伴う初動対応及び避難誘導訓練
(2) 車両脱線復旧訓練



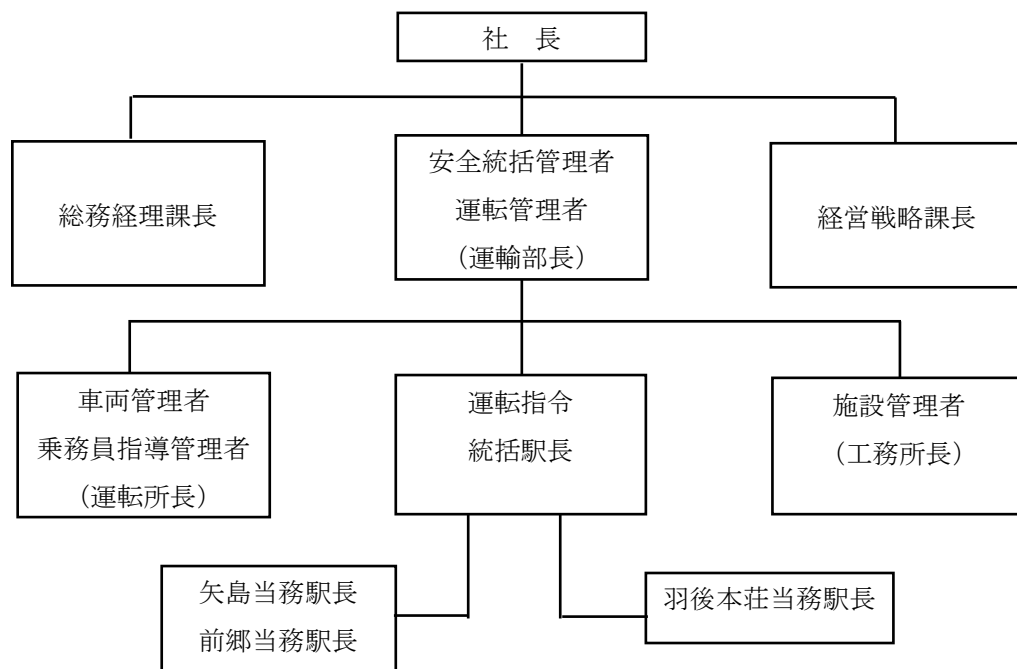
※令和4年10月24日、警察と合同で無差別殺傷及びテロ対処訓練の実施





5. 安全管理体制

当社の安全管理規程に基づき組織体制を整え、安全統括管理者をトップに各職場での安全管理に努めてまいります。



役 職	役 割
代表取締役社長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。 輸送の安全の確保に必要な要員・設備投資・財務に関する事項を統括する。
安全統括管理者	輸送の安全確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	運転管理者の下、車両に関する事項を統括する。

6. 令和4年度の当社運転事故・輸送障害発生状況その他

鉄道運転事故 : 0 件

- ・インシデント : 0 件
- ・輸送障害 : 7 件
- ・踏切障害 : 0 件
- ・車両故障 : 0 件

※ (30分以上の遅延及び運休が発生した事象)

月	日	区 間	原 因	運 休 本 数
4	27	羽後本荘駅～矢島駅間	水 害	上り 6 本、下り 6 本 計 12 本
8	16	羽後本荘駅～矢島駅間	水 害	上り 8 本、下り 8 本 計 16 本
11	29	羽後本荘駅～前郷駅間	その他	8D～7D 区間運休
12	2	子吉駅～鮎川駅間	倒 木	上り 4 本、下り 3 本 計 7 本
1	21	吉沢駅～川辺駅間	倒 木	上り 2 本、下り 2 本 計 4 本
3	1	子吉駅～鮎川駅間	軌 道	上り 2 本、下り 2 本 計 1 本
3	16	羽後本荘駅～矢島駅間	震 害	上り 1 本 計 1 本

7. 安全対策実施状況

令和4年度の線路設備に関しては、軌道整備、道床の交換とマクラギ交換（PC化）、鮎川橋梁根固め工及び下部工補修工事、軌道用計測装置トラックマスターの購入、踏切改良工事等継続して実施し、安全性の向上に努めており規定の順守を徹底します。

車両に関しては、日常の始業点検作業を確実に実施し、全般検査、重要部検査及び定期点検も法律に定められたとおり実施しており、お客さまに安心して乗車頂ける車両を提供しております。

なお、沿線の皆さまには夜間工事等で、ご迷惑をおかけする場合がございますが、列車の安全運行のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

○ 令和4年度の主な安全対策実施状況

鉄道施設総合安全対策事業

(千円)

吉沢・川辺駅間 吉沢踏切敷板その他交換工事	2,021
羽後本荘駅構内 軌道整備他工事	2,042
羽後本荘駅～矢島駅間 PC マクラギ化工事	34,272
羽後本荘駅～矢島駅間軌道整正工事	8,085
軌道用計測装置 トラックマスター購入	3,500
曲沢踏切保安設備改良工事	11,970
前郷駅構内道床交換及び PC マクラギ化工事	8,595
矢島駅構内 22 号ポイントトングレール交換工事	5,268
鮎川橋梁根固め工及び下部工補修工事	39,700
前郷駅～久保田駅間軌道道床（砕石化）工事	4,391
YR2002 重要部検査及び車輪交換工事	9,388
上原踏切改良工事	4,274
子吉川橋りょう橋マクラギ交換工事	8,081
鮎川駅～黒沢駅間 道床交換及び PC 化工事	22,711
鮎川駅～黒沢駅間 レール交換工事	11,821
子吉駅～鮎川駅間 道床交換及び PC 化工事	23,055
久保田駅～西滝沢駅間 道床交換及び PC 化工事	11,923
子吉駅～鮎川駅間 6 k 135m 付近 1 箇所道床・並マクラギ	5,992
YR2002 号車 イベント列車改造工事	19,060
矢島駅構内架空線電灯線地中化工事	511
矢島駅構内コンクリート柱撤去工事	260
西滝沢駅構内 遊間整正工事	819
鮎川駅～黒沢駅間 法尻陥没補修工事	52
子吉駅～鮎川駅間 側溝内土砂撤去工事	150
子吉駅～鮎川駅間 法面除草工	75
羽後本荘駅～矢島駅間 除草剤散布	1,290
子吉駅～鮎川駅間 6 k 450m 崩落土砂撤去工事	650
YR2001 号車イベント列車改造工事	18,950
YR3000 形イベント用テーブル天板取付 1 式	3,880
羽後本荘駅デジタルサイネージ導入及び取付工事	1,142
YR3000 形 YR2002 室内灯 LED 化工事	1,576
各駅舎及び関連施設 LED 照明化工事	20,964
合 計	286,474

8. お客様に優しい駅・鉄道をめざして

当社では、お客さま第一を合言葉に安全で安心してご利用していただけるように、支えて下さる地域住民の皆さまとともに、社員一丸となって知恵を出し合い、沿線環境の整備と駅舎の美化に努めてまいります。

列車アテンダントが乗車するまごころ列車は、初めていらっしゃるお客さまへの沿線案内やイベント案内、グッズ販売を行うなど、親しみやすい雰囲気を醸し出しております。

高齢者等で運転免許を返納された方には、優遇として運賃半額対応など、また、日中時間帯には薬師堂駅～矢島駅間、自転車を無料で持ち込みできる車両を設定し、お客さまがさらに利用しやすい鉄道を目指しております。

9. 『お客様の声』について

当社に対するご意見・ご要望等については、引き続き車内の専用用紙やお客さまへのアンケートのほか、本社・有人駅に於いても電話や窓口にて受付をいたしております。また、ホームページやブログでも、お客さまのご意見・ご要望等もお受けして、社員全員がお客さまの声を真摯に受け止め、改善に努めてまいります。

10. ご連絡先

安全報告書のご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見は、下記にお願いいたします。

〒015-0404

秋田県由利本荘市矢島町七日町字羽坂 21-2

由利高原鉄道株式会社

電話 0184-56-2736

FAX 0184-56-2850